

# サンビュー南海

新春号  
第74号

南海医療センター附属  
介護老人保健施設  
〒876-0857  
大分県佐伯市常盤西町12-6  
TEL 0972-20-5090

南海医療センター附属介護老人保健施設  
施設長 森本 章生



新年あけましておめでとうございます。

2022年2月ロシアのウクライナ侵攻という世界の情勢を揺るがす大きな出来事があり、いまだに続いているという状況です。各国から両国に武器の援助があったり、国際連合がうまく機能していなかったり、隣国からは何十発ものミサイルが発射されたり、この先世界はどのような方向に進んでいくのかとても不安な要素が表面化した一年でした。このような情勢の中、日本も防衛費拡大という方針が打ち出されましたが、国民の健康を守るための医療・介護費が削減されることだけは避けてほしいと思っています。

明るい話題としては、北京で行われた冬季オリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍、藤井聡太棋士10代初の五冠達成、プロ野球での完全試合や年間ホームラン記録更新、サッカーワールドカップでの日本16強入りなどがありました。今年も様々な場面での日本人の躍動を期待したいものです。

新型コロナウイルス感染症が始まって約3年が経過しましたが、いまだに収束が見えていない状況です。皆様方には面会制限を行い大変ご迷惑をおかけしておりますが、その御協力には大変感謝しております。早く新型コロナウイルス感染症が収束し以前のような当施設のご利用ができることを願いつつ、本年のご挨拶に変えさせていただきます。

今年も南海老健をよろしく願い申し上げます。

副施設長 小野 宏



謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
旧年中は、利用者様やご家族様、地域の皆様には、当施設へのご支援とご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、昨年を振り返ってみますと、一昨年同様にコロナ禍の状況が収束することなく、面会・施設内行事等の活動の制限をせざるを得ない状況が続いており、ご不便とご迷惑をお掛けし大変申し訳なく思っております。2年以上にわたるコロナ禍は、社会に大きな変化をもたらし、活動範囲は狭まり、経済活動にも大きな影響が見られました。またロシアによるウクライナへの軍事侵攻が国際秩序を大きく揺るがしただけでなく、世界経済を大混乱に陥れ、日常生活に係わる食料品・ガソリン・電気料等の物価高騰にも拍車をかけております。新しい年を迎え、卯年は希望があふれ、景気回復、物事が好転する縁起の良い年になると言われていますので期待したいと思います。  
最後に、皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も南海老健をどうぞ宜しくお願い致します。

リハビリテーション室 室長  
理学療法士 富松 満代



新年あけましておめでとうございます。  
昨年中は大変お世話になりました。  
日頃のご厚情に心より感謝申し上げます。  
さて全国的に年々少子高齢化が進んでいます。当施設の入所利用者は平均年齢89.7歳、90歳以上の方が58.2%を占めます。長寿化した現代、高齢者の「老年期うつ病」が増加しています。高齢者に限らず、現代社会では強い不安やうつなどの精神的不調を来す人は4人に1人いるとされています。スウェーデンの精神科医アンデシュ・ハンセン氏は、不安やうつとはどういうものなのか、何故生まれるのかを人間の進化してきた原点を振り返り研究し、「運動はうつや不安からあなたを守ってくれる。あなたは運動するように出来ていて、今の時代は運動量が少なすぎる。」と言われています。「運動」は私の専門分野、非常に興味深い話です。今年はこの辺りを掘り下げて勉強し、皆様と共に元気に過ごしていきたいと思えます。今年が明るい年となりますように。  
今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

南海居宅介護支援センター  
管理者 古川 武志



新年明けましておめでとうございます。  
皆様には日頃より格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
昨年一昨年に続き新型コロナウイルスを予防しながらの生活となり病院や施設などでは面会制限などが続く一年となりましたが、私たち居宅介護支援センターでは、病院や施設から自宅に帰って生活される、多くの方のご支援をさせて頂きました。その中で、ご家族や近所の方と数ヶ月ぶりに再会され涙を流される姿もあり、住み慣れた自宅での生活する事の大切さを改めて実感しました。  
今後感染症収束に出口の見えない状況が続く事が予想されますが、介護保険で利用できるサービスの事や介護施設から短期間でも自宅での生活を考えている際などは、いつでもご相談下さい。  
ご利用者、ご家族の不安や負担が軽減し自宅での生活が続けられる様に誠心誠意努めて参りますので本年もよろしくお願い致します。

看護師長 岩木 秀美



新年あけましておめでとうございます。  
昨年は施設運営にご協力を賜りましてありがとうございました。  
昨年は「大切にしたいこと」に気づいた1年でした。  
4月に施設の師長を拝命し、踏ん張る、根を張る、チャレンジというよりは根っこ(軸)を意識した年であった気がします。そして新年を迎え、今年ももっと根を張り、根を深くし、しなやかで柔軟さと強さを兼ね備えたいと思っています。  
何よりも、ご縁でつながった大切な利用者様に、心地よく過ごしていただけるように職員一同で頑張りたいと思っています。  
先の見えないコロナ禍が続いており、御面会ができず不安や寂しさをお持ちのご家族様も多いことと思います。気になる点などありましたら遠慮なく声を掛けて頂ければと思っています。  
本年も皆様のご健勝でご多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

管理係長 簗戸 志穂



新年明けましておめでとうございます。  
皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また昨年中はご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
現在、新型コロナウイルス感染症は感染が急拡大している状況であるため入所者様との面会も緩和できずご家族様におかれましては顔がみれない日々が続く、ご心配なことや不安になることも多々あると思います。引き続き「いれない」、「ひろげない」様に感染防止対策を行ってまいります。またサービス利用者様及びご家族様におかれましても当施設の運営にご協力いただき誠にありがとうございます。今年卯年です。卯は跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり新しいことに挑戦するのに最適な年といわれているそうです。このコロナ禍において今より改善できることはないか、いいことは取り入れて職員一同、「向上」「成長」できるよう取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

介護士長 川井 忠明



新年明けましておめでとうございます。  
みなさんは2023年をどのように迎えられるでしょうか。  
昨年も、いろんなことがあった1年でした。コロナ感染症は終息する兆しもなく同じような状況を繰り返し、各国での考え方や対応の仕方さまざまでした。ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射など世界情勢は厳しさを増すばかりです。そんな中で、日本を沸かせてくれたのが大リーグの大谷選手やサッカーワールドカップ日本代表の活躍でした。私達国民にとって勝敗だけでなく、喜んだり、ワクワクしたり、ドキドキしたりとスポーツが本来もたらしてくれる貴重な時間を過ごすことができたような気がします。  
今年の干支は「卯」であります。うさぎといえば大きな耳が特徴ですが、その役割のひとつに近づいてくる敵をいち早く知るために、かすかな物音も聞きのがさないというのがあります。2023年、私達職員もうさぎのように耳を敷て、皆さんの思いにしっかりと対応をし、利用者の方が穏やかな生活が送れるよう努めてまいります。